

在宅医療と介護の連携について考える ～ずっと自宅で暮らすために～

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けるためには、医療・介護の関係機関が連携して継続的に各種サービスが提供されることが重要です。

今回のイベントでは、いつまでも我孫子で高齢者が自分らしく安心して地域生活を送るための方向を考えます。

10月19日(土) 13:30～15:40 (開場13:00)

ふれあいホール (けやきプラザ2階) 我孫子駅南口徒歩1分

参加費：無料

要約筆記あり

定員：先着250名 ※申込み不要、直接会場へ

講演(1)「これからの在宅医療・福祉連携の在り方」

講師：あびこ診療所 所長・医師 今川 篤子(いまがわあつこ)さん
市民自身がどのように生き、最期を迎えたいのかという主体的な願いを支える介護・医療連携の在り方を、日々の診療経験からお話ししていただきます。一緒に考えましょう。

〈講師紹介〉

神経内科専門医・総合内科専門医。明治学院大学社会部社会福祉学科卒。特別養護老人ホーム勤務を経て、帝京大学医学部に入学。卒業後は昭和大学藤が丘病院勤務。6年前から東京勤労者医療会「あびこ診療所」所長。一般社団法人「あじいる」(困窮者支援団体)代表。

講演(2)「高齢者を支える地域の連携」

講師：我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室
室長 星 良子(ほしりょうこ)さん
相談室に寄せられる相談への対応から、高齢者の地域生活を支えるための連携の事例などをお話いただきます。

主催：我孫子市 企画運営：高齢社会への対応を探る会

問合せ：高齢社会への対応を探る会・佐竹04-7139-6219

山崎04-7169-7343